

# 第3章





## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

障がいの有無にかかわらず，市民一人ひとりが互いに  
支え合い，いきいきと輝いて暮らせるまちづくり

全ての人が共生でき  
る地域社会の実現

ライフステージ※に沿  
った夢や希望の実現

障がいの有無にかかわらず，市民一人ひとりが互いに支え合い，いきいきと輝いて暮らせるまちづくりのために，お互いに理解し，人格と個性を尊重し合いながら，住み慣れた地域で安心して暮らせる共生社会の実現をめざします。

その社会の中で，障がいのある人が自己の能力を最大限に発揮し，夢や希望を実現するための支援体制の構築をめざします。

## 2 基本方針

### ● 全ての人が共生できる地域社会の実現のために

共生社会の実現のためには、障がいのある人が生活や活動について自分で選び、決定することができ、地域の一員として包容(インクルージョン<sup>※</sup>)される社会づくりが重要です。

そのために、自立した生活をめざした支援やサービスの充実を図っていくとともに、社会にある障がいを理由とした差別や偏見をなくし、ソフト、ハードの両面にわたるバリアフリー<sup>※</sup>を推進します。

### ● ライフステージに沿った夢や希望の実現のために

障がいのある人が夢や希望を実現していくためには、本人の声を丁寧に聞き、家族や支援者などの周りの人が共に、意思決定支援に取り組むことが重要です。また、夢や希望の実現に向けて、その人の可能性や能力を高めることも重要です。

そのためには、その人のライフステージに沿った切れ目ない支援体制や障がいの特性や状態、個々のニーズに応じた支援体制の構築とともに、家族への支援も必要です。これらについて、保健・医療・福祉・教育等の連携や市民と行政の協働によって充実を図ります。

### 3 計画の推進のために

「障がいの有無にかかわらず、市民一人ひとりが互いに支え合い、いきいきと輝いて暮らせるまちづくり」を実現するためには、市民、地域、企業、医療・福祉関係機関、障がい者団体、NPO※及び行政がそれぞれの立場で互いに協力し合うことが必要です。そのためには、以下のような役割が求められます。

- ◎高知市の役割
  - ・国や高知県との連携
  - ・サービス基盤の整備
  - ・バリアフリーの推進
  - ・市民・企業・関係機関への支援, 協働
  - ・人材の育成
  - ・実態・ニーズの把握
  - ・地域の資源の把握とネットワーク化
  
- ◎市民の役割
  - ・お互いの人格や個性の尊重, 支え合い
  - ・計画推進のための主体的な取組への参加
  
- ◎障がいのある市民の役割
  - ・障害者計画推進の主役としてのかかわり
  - ・障がいごとの特性や障がいがあっても、工夫によりいきがいを持ち、生活できること等についての情報発信による啓発
  - ・主体的な生活を送るための自己選択・自己決定
  
- ◎地域の役割
  - ・住民同士の見守りや声かけといった支え合い活動
  - ・民生委員や町内会, 各種組織やサークル等の活動
  
- ◎企業の役割
  - ・障がいのある人の雇用に向けての取組
  - ・障がいのある人が働きやすい環境の整備
  - ・障がいのある人が利用しやすい環境の整備

- ◎関係機関の役割 ・専門的なサービスの担い手
- 〔 指定事業所  
医療機関 等 〕 ・情報提供・相談支援
- ・人材の育成
- ・地域の資源の把握とネットワーク化

- ◎障がい者団体の役割 ・意見の集約
- ・障がい当事者の活動の支援
- ・バリアフリーの普及啓発

- ◎NPO・ボランティア団体の役割
- ・障がいのある人のニーズと必要な情報や人とをつなぐ、  
自発的な社会貢献活動
- ・市民・行政・企業等の地域の横の連携

